

# 平成 27 年1月1日以降の実績

## 1号機

### 【滞留水の移送】

- ・1号機タービン建屋地下→1号機廃棄物処理建屋  
移送実績無し

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 2号機

### 【滞留水の移送】

- ・2号機タービン建屋地下→集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)  
移送実績無し

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 3号機

### 【滞留水の移送】

- ・3号機タービン建屋地下→集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)  
移送実績無し

- ・3号機タービン建屋地下→プロセス主建屋  
平成 26 年 12 月 14 日午前9時 34 分～

### 【その他】

現時点での特記事項無し

## 4号機

現時点での特記事項無し

## 5号機

現時点での特記事項無し

## 6号機

現時点での特記事項無し

## 共用プール

現時点での特記事項無し

## 水処理装置および貯蔵設備の状況

### 【タンクパトロール結果】

<特記事項>

- ・平成 26 年 12 月 31 日午後0時 39 分頃、H2タンクエリア内のB2タンク(フランジ型タンク)側面縦フランジ部に、にじみ(5～6秒に1滴程度の滴下)を、タンクパトロール中の当社社員が発見。その後、滴下は 60 秒に1滴程度まで減少。滴下した水は容器に受けており、容器に溜まった水の表面線量率を測定したところ、ベータ線(70  $\mu$ m 線量当量率)で 0.03mSv/h、ガンマ線(1cm 線量当量率)で 0.01mSv/h であり、バックグラウンドと同程度であった。このことから、タンク内の水がにじみ出たものではないと考えている。平成 27 年1月1日午前8時、当該部のにじみがないことを確認。

### 【H4, H6 エリアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

### 【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

### 【セシウム除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【多核種除去設備 (ALPS)】

現時点での特記事項無し

### 【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項無し

### 【淡水化装置】

現時点での特記事項無し

### 【サブドレン他水処理施設】

現時点での特記事項無し

## 地下水バイパス

### 【排水実績】

<排水実績>

排水実績無し

<特記事項>

現時点での特記事項無し

### 【地下水バイパス揚水井のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

## 地下水調査関連

### 【地下水観測孔のサンプリング結果】

<特記事項>

・平成26年12月31日に採取した地下水観測孔No.2の地下水の分析値について以下の通り変動がみられた。

<今回(12月31日)採取分>

・セシウム134 2.1Bq/L(過去最大値)〔前回分析値(12月29日採取):検出限界値(0.39 Bq/L)未滿〕

・セシウム137 7.7Bq/L(過去最大値)〔前回分析値(12月29日採取):検出限界値(0.58 Bq/L)未滿〕

<参考:過去最高値>

・セシウム134:0.88 Bq/L(平成26年2月26日採取分)

・セシウム137:2.5 Bq/L(平成26年2月26日採取分)

なお、当該観測孔の位置する2.3号機取水口間では、海洋への流出防止を目的として、ウェルポイントによる地下水の汲み上げを継続している。

その他分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

・平成27年1月2日に採取した地下水観測孔No.2-7の地下水の分析値について以下の通り変動がみられた。

<今回(1月2日)採取分>

・セシウム137:12Bq/L(過去最大値)〔前回分析値(12月31日採取):0.92 Bq/L〕

<参考:過去最高値>

・セシウム137:9.0Bq/L(平成26年2月23日採取分)

その他分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

現時点での特記事項無し

## その他

### 【その他設備からの水漏れ】

現時点での特記事項無し

### 【油漏れ】

現時点での特記事項無し

### 【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項無し

### 【けが人・体調不良者等】

現時点での特記事項無し

### 【その他】

現時点での特記事項無し

以上